

RST主催学習会 報告書

開催日 平成25年7月18日(木) 18:30~20:00 大研修室

出席者等 院内、院外合わせて33名

講師 Kimberly-Clark アソシエイト・クリニカルデュケーション・マネージャー
三枝 輝子先生(看護師・呼吸療法認定士)

記録 小林 亜美

学集会項目 気管吸引のベストプラクティスと口腔ケア

議題 (資料参照)

1. 気管吸引とは？

- ・定義、目的
- ・痰の発生、性状
- ・なぜ、気管吸引は重要？
- ・いつ実施する？

2. 気管吸引のリスク

- ・無気肺損傷
- ・吸引圧
- ・感染予防
- ・開放式吸引による病原体の外部への飛散
- ・眼の感染

3. 気管吸引に関連する知識・要件

- ・気管吸引のガイドライン
- ・気管内吸引実施者の要件
- ・望まれる要件
- ・禁忌と注意を要する状態

4. 気管吸引の準備と実施方法

- ・吸引の適応
- ・患者のモニタリング
- ・安全で効果的な気管吸引
- ・開放式か閉鎖式か？
- ・カテーテルサイズの簡便な計算法

5. より安全で効果的な気管吸引の実施

- ・吸引前の酸素化
- ・吸引前の過換気・過膨脹
- ・Shallow法とDeep法
- ・実施後の評価

6. 口腔ケアについて

- ・本邦における肺炎の現状、院内肺炎の特徴
- ・口腔環境、デンタルプラークの発生

- ・包括的な口腔ケアプログラム
- ・すべての入院患者に推奨される口腔ケア
- ・人工呼吸器装着患者に推奨される追加的な口腔ケア

7. その他

- ・事前に募集した質問事項に対する返答

8. 学習会に参加した感想

今回は「気管吸引のベストプラクティスと口腔ケア」についてキンバリー・クラークの三枝先生が講義して下さいました。気管吸引は看護業務の中で日々行われている手技ですが、その目的や注意点、吸引することによるリスクなど基礎から学ぶことができました。口腔ケアについては、国内でのガイドラインがないことから各施設によってケアに違いがありますが、歯科衛生士やリハビリ科など他部門と連携してその患者様に合った口腔ケアを考えることが大切だと分かりました。今後は学習会で得た学びを深め日々の看護に生かしていきたいと思えます。